

異業種交流活性化支援事業の主な実績

(1) 新商品・新サービス・新技術開発

①「宝塚花の里・西谷ブランド：宝塚商工会議所」

宝塚市西谷地区に開通予定の「新名神高速道路宝塚SA」の開設に併せ、地元「西谷」産の農作物を生かした新商品の開発・販売を目指し協議会を立ち上げるとともに、統一ブランド「宝塚花の里・西谷」を創設し、商標登録。宝塚名産として販路開拓を目指している。

(人参ドレッシング、花寿司、桑の葉スイーツ、はちみつ等)



②「神戸べっぴんものがたり：神戸商工会議所」

神戸を観光で訪れる女性や神戸が好きな女性をターゲットに、食品や化粧品等、美容と健康をコンセプトにした新たな神戸土産品を開発し、統一ブランド「神戸べっぴんものがたり」として販売。県内を中心に15か所のサービスエリア・パーキングエリアで販売。



③「木材強度計の開発：宍粟市商工会」

住宅用木材のうち、梁や桁等に使用する木材には、大部分が安価で安定供給可能な外材が用いられているが、宍粟地域の重要な資源である杉材の強度を客観的に保証する仕組みを構築し地元産木材の建築市場への参入を図ることを目的に、比較的簡易な木材強度計を開発。



④「農産物に応じた包装技術の開発：工業技術振興協議会」

鮮度維持のため個別の農産物に応じた包装用パッケージの開発が求められているが、特に、県内で販路拡大要望の多い「イチジク」向けに新型いちご容器「ゆりかご」を活用した包装技術の開発などに取り組んでいる。



⑤「淡路島の有機肥料から始める循環型農業の商品開発と情報発信事業：淡路市商工会」

循環型農業をテーマに、有機肥料を生産する畜産・農業関係者と、それを使用する農家・流通関係者やデザイナー等が連携して、現在商品化している発酵鶏糞及び菜種油粕の販路開拓とそれに伴う広報ツールの製作、玉ねぎの堆肥化等他の有機肥料を使った商品開発に取り組んでいる。



(2) 新市場開拓・ブランド力強化

①「宝塚すみれシャンメリー：宝塚商工会議所」

商工会議所青年部が開発したノンアルコールの炭酸飲料「宝塚すみれシャンメリー」について、ターゲットの明確化やコンセプトの再検討をマーケティングプランナー、デザイナーの助言で実施。クオリティの高い販促資材の作成等により高付加価値化を図り、利益率改善。メンバー企業に事業譲渡。



② 「播州刃物：小野商工会議所」

播州刃物の海外販路開拓を目指し、デザイナーとの連携により色や質感を高めた商品を開発。「播州刃物ブランド」で海外での販路開拓を目指し、ニューヨーク、パリなど海外の展示会に出展。27年度の売上は1,000万円以上と順調に伸びている。



③ 「amenomaブランド：三木商工会議所」

三木金物の新たなブランド化を目指して、播磨地方に縁のある製鉄・鍛冶の神「天目一箇神」（あめのまひとつのかみ）から“amenoma”（あめのま）ブランドを創設。「鳥」をモチーフにしたデザイン性の高い包丁やペーパーナイフの試作品を東京ビッグサイトの展示会に出展し、新たな販路を開拓した。



④ 「尼崎あんかけチャンポン：尼崎商工会議所」

商工会議所主導でH26.3月に持ち帰り用の土産品を開発販売。H26年度に、市内の中華料理店や映像制作会社等が集まり「チーム・尼崎あんかけチャンポン」を結成し、「ワールドちゃんぽんクラシック」に出展するなど年間を通してイベントに参加、持ち帰り用商品の販売とPRに努めた。また市内22店舗が参加する「あんかけチャンポンのスタンプラリー」を実施し各店の宣伝とあんかけチャンポンの知名度向上を図った。



（28年度は尼崎市制100周年事業として「ワールドちゃんぽんクラシック」を開催予定）

(3) 工程の改善・革新

① 「生産技術のボトムアップ：兵庫工業会」

ものづくり企業が相互の工場や先進企業の視察・意見交換を通じて、自社の工場の課題に「気づき」、在庫削減・リードタイム削減・生産プロセス変更など問題解決につなげた。なお大手メーカー出身の技術者をコーディネーターに迎え、助言を受けた。

(4) 地域課題発掘し、ビジネス化企画

① 「ファシリテーターの活用による目標の絞り込み：神河町商工会」

神河町の特性を生かしたニュービジネスの構築を目指す過程でファシリテーターの巧みな誘導により、ビジネス化を見据えた目標を3つに絞り込む。さらに検討の結果、最終的に1つ（高齢者等を中心とした生活支援サービス）に決定。H28年度以降はこのテーマでビジネス化を目指す。

② 「NISHINOMIYA+STORY：西宮商工会議所」

当初は事務局提案の一品逸品運動を目指したが、メンバーの同意が得られず断念。メンバーの入れ替え、ファシリテーターの活用などで議論が活性化。当初目標を変更したにもかかわらず短期間でコラボ商品と新ブランド「NISHINOMIYA+STORY」を立ち上げ、一定の成果に到達。

